8/24開催 はじめの一步応援フォーラム 聴講者の方のご感想（一部抜粋）

○良かった点

- パネルディスカッションで本音の話を聞くことが出来た。
- 当事者のお話を直接お聞きできたことはとても貴重なことでした。当事者の方の勇氣ある行動、発言に敬意を表します。当事者の他企業関係者、支援者と立場の違うお三方のお話を聞くことができ大変参考になりました。
- 生の声をストレートに聞いて大変よかった！ロザリン先生の話の展開も良かったと思います。
- ひきこもりの内容について、詳しくおしえてもらって良かった。
- これからどのように支援していいのかの相談できる場があることがわかり良かったです。
- 医療なくして支援に結びつかないと思っていたので、その流れがなくても今後支援して頂けるシステムが出来るのではないかと、期待できたこと。
- 先生の講話はわかりやすくよかった。パネルディスカッションの進め方が具体的で素敵よかった。ただの事例紹介でなくてよかった。
- 当事者（体験者）、行政の活動状況、作業現場事業者の現状を説明するだけでなく、本音の言葉で話してもらったところが、今の就学の制度の足りないところとか、少しは理解できた、かな。ふくしの窓口でこのようにていねいな対応、指導してくださっていることを知り、ありがたいかぎりです。
- とても良い内容でした。自分に何ができるのか考えていきたい。
- 「ひきこもり」の調査データとその差異、当事者の参加、実践している支援の提示、パネリストの「ひきこもり」のとらえ方が多様だったことと現場での声。
- 通りいっぺんでなく、1つの課題や問題にも深く追求し、聞き手にしっかり伝わった点。

○改善してほしい点

- ひきこもりも不登校もいろいろな要因があると思うので、いろいろな立場から考えていく必要があると思います。そう考えると教育関係や医療関係の方たちにももっと参加してもらいたいのので、さらに参加を呼び掛ける働きかけをがんばってほしいです。
- もっとフォーラムについて、宣伝してほしい。特に市の広報やラジオのほかに、テレビや市のインスタ等を通して。
- もっと、パネリストの話を聞きたかった。
- 終了時間は守ってほしい。

- もっと講師の人を呼び、体験を通しての話をしてほしい。
- このようなイベントには、参加者は興味を持ったり、意識が高い人がおおいと思うので、もう少し時間が長くて良いかと思う。

○その他ご感想

- 会場に入ってくれる人以外にも、入り口の外や、階段のところから興味を示してくれている人もいて、よかったなと思いました。
- 専門職だけでなく、地域の人々の協力・理解。
- 第2段、第3段があるならば、パネルディスカッションに精神科医など医療関係者、あるいは中高教師、一般企業からの参加もあるといいかなと思う。
- 「ひきこもり」について自分が無知なことが多く、データや実例を通して知ることができた。定義があることも知った。
- 初めてこのようなフォーラムに参加し、多方面からの支援が必要だと感じました。全体に時間が足りなかったと思います。
- 親の関わり方の学び不足があるので、親がどうしてよいか教えてほしいのでそういう場があれば、作ってほしい。

○孤独・孤立に悩む人をなくすために必要だと思うこと

- 当事者同士の居場所・交流の場を増やす(合う合わないがあるので複数あると好ましいです) オンラインでの情報発信の強化。
- まずは、「ふらっと」のような家庭以外の居場所づくりが必要だと思います。ふくしの窓口や新しくできた「よってこっと」、今日紹介していただいたシャイニングワンスターズさんのような企業のことなどを市民に知れわたるように広報活動をさかんにし、だれでも気軽に利用できるようにすることも必要かと思います。
- 明日行ってみようかなという場があること。
- 地域の人々の関わりも大事なことと思う。
- 家族の責任でもなく、本人の責任でもない。無くすことは、とても難しいと考えます。一番悩んでいるのは家族だから。
- 個性を大事にした教育環境が必要と思う。学力重視の教育が「いじめ」「不登校」「ひきこもり」を生み出しているのでは？
 - 地域の一人一人を知る、わかる、民生員とは違う人が必要だと思います。周りの人達は高齢化してきているのもある中ですが。
- 地域、周りの住民に関心をもって、見守りや声かけできる個々の意識も必要。当事者、家族が相談しやすい機関と人材、環境づくり。

- 信頼関係の構築の大切さを感じました。
- 一度社会のルールから外れてしまうと、自分のことを話す機会がなくなってしまうので、話ができる場があればいいと思います。
- 常によりそってもらい、いろいろな情報提供、アプローチ、長い目でのアウトリーチが必要だと思います。ひきこもりが長くなるにつれて、あきらめることもある。
- ふらっとのような「居場所」がもっと増えると良いと思う。また、「職場」や「住む場所」を備えた居場所があると良い。
- 完全に孤立してしまう前の支援。
- 当事者が何を思っているのか、何をしたいか知ることが必要。それぞれが立場違うので、一律の方法では考えないほうが良いと思うが、どうやっていったら良いのかは、今後も議論が必要と思う。